

東京都目黒区で発生した事故に関して ルールとマナー再徹底のお願い

皆さんもニュースなどで知って見えると思いますが、東京都目黒区の射場で11月4日、アーチェリー練習中に高校生が誤って発射した矢が、同じ練習をしていた同級生の生徒の眉間に刺さり意識不明の重体となり、その後入院先の病院で11月8日に亡くなるという重大事故が発生しました。

アーチェリーは殺傷能力のある用具を使用するスポーツです。使い方次第では重大な結果を招く事は、アーチェリーを始めた時に指導者から教えられたはずです。

今回どのような状況でこのような事故がおきてしまったのか、詳細については推測以外分かりませんが、矢を射つ前にはシューティングライン前方に人がいないことを確認し、人がいれば絶対に矢をつがえてはいけませんし、また他の人が射っている時には絶対にその前には出てはいけません。

まして、たとえどのような状況であっても矢をつがえた弓を人に向けて引くなどという事はアーチェリー愛好者としてはルールやマナー以前の問題であり、最低限のルールやマナーが守られていれば今回の事故は発生しなかったと思います。

亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、二度とこのような事故が発生しないようにする為にはどうすれば良いのかを、私たち一人一人が真摯に考えて頂きたいと思います。

初心者教室で指導しているルールとマナー

- 1、シューティングラインより前に人がいる時は、弓に矢をつがえないこと。
(衣服などにストリングが引っ掛かるだけでも矢が飛ぶ場合があります)
- 2、他の人が行射中はシューティングラインより前に出ないこと。
(自殺行為です)
- 3、空に向かって矢を射たないこと。
(遠くまでよく飛びます そこに人がいたらどうなりますか?)
- 4、矢の向きが地面と平行になるようにドロ잉すること。
(射場から矢が飛び出さないようするため)
- 5、人に向かって弓を引かないこと。
(矢をつがえていなくても駄目です 自分がやられたらどう思いますか?)

今回のような事故が名古屋周辺で発生した事は今までありませんが、「対岸の火事」と考えないで下さい。二度とこのような事故を起こしてはいけなないと、私たち一人一人が肝に銘じて今後の行動を行ってください。万が一ルールやマナーに反するような行動をしている方を見かけた場合、直接注意して頂くか下記まで連絡願います。連絡を頂く場合は個人または団体が特定できる情報も合わせてお知らせください。

参考 全日本アーチェリー連盟からの緊急告知

(この通達は事故発生の翌日、被害者がお亡くなりになる前に発信されたものです。)

すべてのアーチェリー関係者へ

新聞テレビの報道で既にご承知のことと存じますが、昨年4月の重大事故と同様の事故が、昨日、東京都内公共の練習場において発生してしまいました。昨年の事故以来、徹底した安全管理をお願いして参りましたが、1年後の事故発生は残念でなりません。

改めて、事故防止について、再度、強くお願いいたします。

1. 弓具は、指導者の指示に従い、危険性を認識して取り扱う
2. 矢をつがえてない状態でも、弓を人に向けてはいけません。ましてや、矢をつがえた状態では、絶対に人に向けてはいけません。
3. 競技会場でも、練習場でも、常に周囲に気を配り安全を確認してからプレーする。

今回の事故は、弓を始める人たちへの最初の指導事項で防止できたはずですが。

それが、守られなかったことは残念でありませんが、再度アーチェリーを愛する方々にご注意をお願いいたします。

本連盟ホームページに「安全のために」と事故防止に向けて」を掲載しております。また、本連盟発行の「アーチェリー入門」第1ページに「安全のための知識」が掲載されています。

これらを、確実に実践してください。実践いただければ事故はおきません。

皆様と共に、事故のない楽しいアーチェリーを実現してまいりましょう。ご協力をお願いいたします。

事故に遭われた高校生の一日も早い回復をお祈りいたします。

平成21年11月5日

全日ア連総務第09-039号

(社)全日本アーチェリー連盟

専務理事 島田晴男